

# 学校法人日向学院

日向学院ドミニコ・サビオ会館／宮崎県宮崎市

日向学院は、ドン・ボスコの志を継いだヴィンセンチオ・チマッティ神父によって、1946年ここ宮崎の地に創立され、2021年に75周年を迎えました。

「信・理・愛に基づく予防教育の実践」「家庭的精神に立った教育共同体の形成」「知・徳・体のバランスのとれた教育の実践」の教育の3つの柱、キリスト教の精神に立った人間教育、グローバルな視点を育てる教育を教育理念とした、中高一貫教育を実践しており、社会の様々な分野で活躍・貢献する人材を輩出しております。

従来より指定避難所として提供していた施設のレジリエンス向上を目指した事例となります。



外観

## 補助事業の概要

導入設備：停電対応型GHP 56kW×2台

補助金額：6,533千円(補助率1/3)

災害時の設備用途：【給電】1F食堂・2F美術室 照明・コンセント  
【空調】1F(食堂、売店、面談室) 2F(美術準備室、大教室、美術教室)

対象施設	避難所面積	供給方式
指定避難所	541㎡	低圧

## 事業者様の声

## 補助金を用いた設備導入の経緯と効果

学校法人日向学院 法人統括部長 藺田 朝武 様

当校は以前より災害時の避難所として位置づけられておりました。しかしながら、避難所として使用する施設には発電機もなく、災害時の停電下では、避難される地域の皆様に良い環境を提供することは望めませんでした。そこで、以前より停電が起きた際を想定し、発電機等の設備の導入を検討しておりました。一方で、空調設備の老朽化も進んでおり、こちらも検討事項となっておりましたところ、ガス会社よりこの補助金を活用した空調機更新の提案をいただきました。

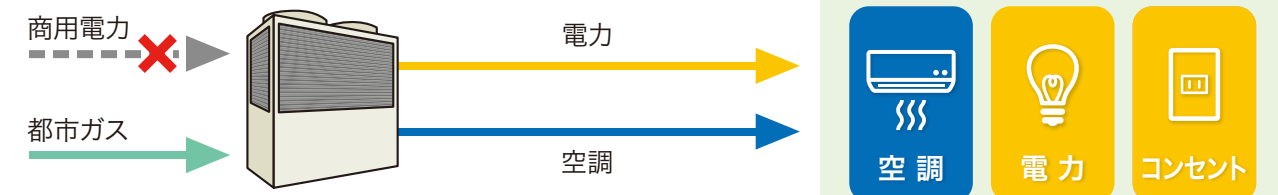
停電時での照明やコンセント、空調機器の使用が可能となることで、施設としての災害時の強靱化が図れるうえ、コストを抑えられることは大きなメリットでもありました。また、災害時の都市ガス供給についても、ガス会社より説明をいただき、安心して導入を決めることができました。

今回の設備更新により、従来に比べ、避難される地域住民の皆様には掛かる負担を大幅に軽減できるのではないかと考えております。

## 災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

平時  通常のGHP空調機として使用

停電時  空調機+避難スペースの照明・コンセントへの電力供給



ドミニコ・サビオ会館



避難スペース



GHP室外機



GHP室内機 / 照明



コンセント

## 協定概要

日向学院は、従来より宮崎市の指定避難所として登録されており、学院敷地内各ゾーンに役割が設定されております。本事業完了後に市の現地確認が行われ、事業者様より、今回採用された停電対応型GHPでのシステムの説明がされました。市からも、指定避難所のレジリエンス向上に関して、ありがたいという言葉いただいたそうです。